

9月の星空情報

2023年 9月 1日

発行 黒石すばるの会

http://subaru9614.dip.jp/

最近の天文のニュースや話題から(9月)

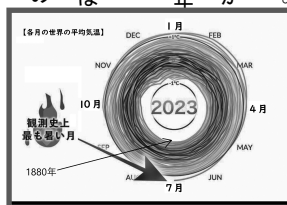
◎1961-1970年間で最も暑い七月!

NASAの発表によると、今年七月の世界の平均気温が一八八〇年から二〇二三年までの約一四〇年間の観測史上、最も暑い月となった、ということなのです。

左の図は毎年の世界の平均気温を円にし月ごとにあらわしたものです。

一八八〇年から円がどんどん大きくなり、今年七月が最高に。

NASAによると、原因は人間活動に伴う影響の可能性が高いとのことです。



◎オーストラリア西部の海岸に謎の円筒漂着!

七月、海岸に打ち上げられるという話題になった円筒形の物体。

オーストラリア宇宙庁の発表によると、過去にインドが打ち上げたロケットの残骸。

表面にはフジツボが付着し、大きさは人間の身長より高いとのこと。ビックリですね。



☆今月のおもな天文現象

◎9月：土星が見ごろ(宵の南東の空)、少し遅く(21時ころ東の空)に木星も!

土星は0.4~0.5等で「みずがめ座」です。まわりに明るい星がないので、目立ちます。木星は「おひつじ座」にあり、21時ころからが見ごろになりますが、-2.6等級の明るさなので、東の空に昇るととても目立ちます。小望遠鏡でも、木星本体の縞模様や四つの衛星(ガリレオが発見したので「ガリレオ衛星」と呼ばれる)の運動がわかります、何回か時間をあけてスケッチしてみると良いでしょう。

土星も木星も、これから秋・冬にかけて宵のころからの夜空に輝く惑星です。

◎9月19日：朝方の東空で金星が最大光度(-4.8等)!

朝方輝く金星を「明けの明星」といいます。最大光度ころの金星は、太陽との位置関係を知っていれば、日中に青空の中でも探すことができます。

小望遠鏡で観察しても、三日月のように欠けているのがわかります。早起きしてチャレンジしてみよう。

◎9月21日：夕方にさそり座の1等星アンタレスが月に隠される!

これを「アンタレス食」と呼びます。隠される時は、まだ明るいので観察は難しいですが、出現時(18時46分15秒)は、暗くなっているので、小望遠鏡でも観察できるでしょう。月の危機の海付近から出現ですので、ここを目印に見張ると良いでしょう。

☆☆☆「星を見る会」のお知らせ☆☆☆

＜テーマ：月面LOVEと月面人、土星の環を見よう／抽選会あり!＞

9月23日(土) 時間:午後 7:30 ~ 8:30 場所:黒石小(中郷中)校庭

※寒い服装で来てください。中学生以下の人は、おうちの人といっしょに来てください。

天文グッズの当たる抽選会もあります、くもりでもおこないますが、雨なら中止です。

なお、新型コロナウイルス対策のための検温やマスク等については各ご家庭で判断をお願いします。また、コロナの状況によっては、中止もあるかもしれませんので、注意してください。

